

オオキチくん通信

2020年11月号

発行: NPO法人森からつづく道

URL: <http://morimichi.org/>

★上記HPからダウンロードできます

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて作成しています。



協力: 風早活性化協議会

今年の秋のオオキトンボ情報(じょうほう)です。
9月19日にため池に帰ってきたこと、9月27日に産卵(さんらん)が記録(きろく)されました。今年の産卵は昨年よりもふえています!

天敵とは?

食べられるがわの生きものにとって、強い敵(てき)のこと。たとえば、ネズミにとってネコは天敵だよ。

オオキトンボの天敵(てんてき)!!

★羽化したばかりのトンボの天敵

【ツバメ】最大のオオキトンボハンター

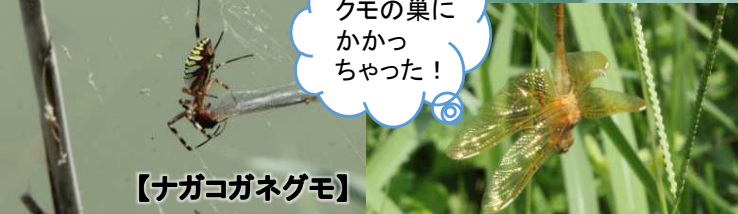


【セグロアシナガバチ】



クモの巣にかかった!

【ナガコガネグモ】



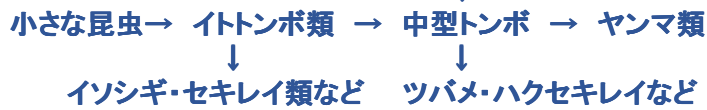
羽化したばかりの若い(わかい)トンボの最大の天敵はツバメで、池から山に向かって飛び立ったところをつかまえます。ナガコガネグモやアシナガバチなども、トンボをつかまえます。秋、産卵(さんらん)のために池に帰ってきたオオキトンボを待ち受けているのは、ハクセキレイなどの鳥たち。なわばりをはっているオスや、ペアで産卵しているところをねらわれています。モズやセグロセキレイも、天敵の可能性(かのうせい)があります。これも食物連鎖(しょくぶつれんさ)(しょくもつれんさ)の一つです。

★産卵に帰ってきたトンボの天敵

食物連鎖とは?

自然界で生きものが、食われるの関係で、鎖(くさり)のようにつながっていること。

ため池で観察された食物連鎖



【ハクセキレイ】



【セグロセキレイ】

11月1日、風早レトロまつりが開催(かいさい)されました!



河野別府公園

青空の下、しんがたコロナウイルスに感染(かんせん)しないように、お店を出す人も、さんかする人も、マスクやしょうどくをしました。

密(みつ)にならないように注意(ちゅうい)して楽しくすごしました。獅子舞(ししまい)や歌もありました。



森からつづく道のテントでは、トンポうらないや、クラフトづくりをしました!

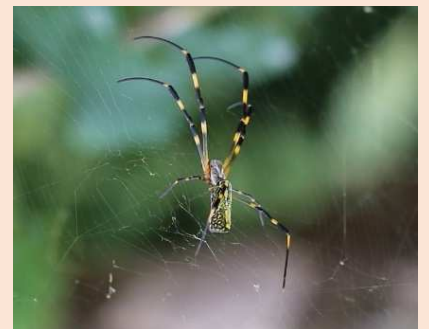
来年はコロナのしんばいなくできたらいいね!!



あのムシは今?! 【ジョロウグモ】

ジョロウグモは毒を持っていますが、この毒は虫にとっては強力ですが、ヒトに対しては効果がないので心配はありません。

ジョロウグモはスズメやカラス、そしてサイズによっては自分が食べようとしたスズメバチにもぎやくに食べられてしまう危険(きけん)があるそうです。(若山勇太)



まつぼっくり? コレクション *ヤシャブシ*



ヒツジの顔に使われているのは、ヤシャブシの実。松のなかまの果実をまつぼっくりにするなら、まつぼっくりとはいえませんが、にた感じですね。タンニンという成分(せいぶん)がたくさんあるので、黒い色にそめるために使われます。やせた土地にも育つ木です。

秋を代表する鳥

「ピーヨ、ピーヨ」のヒヨドリと、ものまね上手のモズ



里山の代表だよ！

クロガネモチの実を食べてます



わたりをするヒヨドリ

春と秋に見られる群れ

ヒヨドリ：名前の由来は、なき声

全長は約27cmで、スズメとハトの中間サイズ。「ピーヨ、ピーヨ」となく、代表的な里山の鳥。1年中いるものと、春と秋に集団（しゅうだん）でわたりをするものがあります。ミカンや植物の果実が大好きで、食べてフンをすることで、タネを広いはんにまいています。風早地域では春と秋に、北条鹿島と陸（りく）がわをわたる群れ（むれ）が見られます。

モズ：漢字で「百舌」と書くほどものまね上手

全長は約20cm。モズは里山の代表的な留鳥。秋はモズの「高なき」で始まり、初冬まで、なわばり争い（あらい）をしています。モズはいろいろな鳥のなき声をまねるので「百舌」とか「百舌鳥」と漢字で書かれます。また、動物食で、捕らえたカエルやバッタなどを木の枝などにさす「モズのはえにえ」をします。



「舌」は「した」の漢字だよ。

オス

モズも里山の代表！

高なきをするメス

「モズのはえにえ」の例



風早の山

雌甲山（めんごやま）189m。伊予の豪族（ごうぞく）河野氏の菩提（ぼだい）、善応寺のすぐ南東にあります。南側の高山集落と北側の善応寺下の道に、城山道石碑（せきひ）があり、20分ほどで登れます。山頂に役の行者をまつ祠（ほくら）があります。11月には、黄色のイヨアブラギクが咲き、鹿島のよいながめが楽しめます。中世に城があったと伝わっています。



今月の植物 ★ムベ

木にまきついている、つる性の植物。林のふちに生育（せいいく）しています。むらさき色に色づいたら食べごろ。アケビやミツバアケビとちがって、果実が開きません。果実はタネが多いけど、甘くておいしいよ。

そうやったんかい！ 外来生物 ⑱



アレチヌスビトハギ

最近増えた、北アメリカ原産のマメ科植物。ヌスビトハギに似ているけれど、実が3つ以上くびれているのがちがう。どちらも服にくっつくやっかいものです。

ちょっと
いっぶん

ワラ干しの風景



今は稲刈り（いねかり）と同時に、大型機械でワラを細かく切って、田んぼにまくことが多いけれど、この田んぼでは、ワラがそのまま干されています。日の当たる地面には小さな植物が育っています。（河野別府）